

匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業

令和2年度 第1回 飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録

| | | |
|-----|--|------|
| 日時 | 令和2年8月29日(土) 13:00~14:15 | |
| 出席者 | <p>■協議会委員</p> <p>井上 峰夫 社会福祉法人九十九里ホーム理事長 飯島 長男 前匝瑳市豊栄地区シニアクラブ副会長 大塚 栄一 匝瑳市商工会副会長 鈴木 弘 匝瑳市シルバー人材センター会長 眞田 心哉 千葉興業銀行営業支援部長代理 代理出席 伊場 寛人 千葉興業銀行八日市場支店長 宇野 智弥 匝瑳市介護事業者連絡会長 加瀬 功一 匝瑳市ボランティア連絡協議会長 吉本 光志 豊栄地区社会福祉協議会長 椎名 英夫 幼稚園・保育園運営者代表 川崎 隆 豊栄地区区長会長 鶴之沢 正吉 須賀地区区長会長 山口 勝則 移住希望者</p> <p>■事務局</p> <p>社会福祉法人九十九里ホーム 江波戸 美代 専務理事 鈴木 敦子 事務長 庄村 秀泰 コーディネーター</p> <p>特定非営利活動法人元気な日本をつくる会 武藤 克哉 組織運営本部事務局長</p> <p>■オブザーバー</p> <p>匝瑳市 林 雅之 匝瑳市企画課長 江波戸 英樹 匝瑳市企画課 副主幹</p> | |
| 議事録 | 事務局 | 1 開会 |

| | | |
|------------|---------|---|
| | | 開会のあいさつを行った。 |
| 事務局 | 2 委員会紹介 | 本年度委員会メンバーを紹介した。 今後のスケジュールを確認した。 |
| 事務局 | 3 議事 | <p>(1) 匝瑳市版生涯活躍のまち形成事業の説明</p> <p>①事業概要、進捗状況説明</p> <p>②平成 28 年度～令和元年度取組み説明</p> <p>③令和 2 年度の取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住、安住への PR 手法 <ul style="list-style-type: none"> －「安心・安全」を PR －東京・匝瑳市での二地域居住クリエイターによる PR 動画作成 ・地域交流センターの活用 <ul style="list-style-type: none"> －生涯学習施設の運営 －農産物直売所の運営 <p>(2) 事業進捗状況</p> <p>進捗状況説明事項は以下の通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民説明会開催の報告 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業者への応募について ・農産物直売所の事業者募集状況について ・生涯学習施設と地域交流スペースの活用について ・サ高住建設の準備状況について ・地域交流センター建設の準備状況について ・2020 プロモーション活動としての映像制作について ・有識者講演会の開催について |
| 井上峰夫 会長 | | ここまでのところ、ご意見いかがか。 |
| A 委員 | | サ高住と生涯学習施設はまだ九十九里ホームがやった事がない事業である。現在稼働している事業は既に経験があ |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>る事業である。</p> <p>今まで2回の住民説明会があり、今日貰った資料はまだしっかりと読めてはいないが、いかに住民の期待に添えるかが重要だ。匝瑳市そのものの魅力をどう伝えるか、本日は行政も来ているが、匝瑳市がシティープロモーションを積極的に行うことによって運営会社はPRする時に楽になる。そして匝瑳市の行政と共にイメージアップを図っていくことが大事である。</p> <p>B 委員</p> <p>今コロナ禍の中でどの事業も影響はあるだろうと思う。子どもの話では香取、山武地区は少子化で子どもが減っている。また職も無くなり、場合によっては預けている子どもを一旦辞めさせると言う現場を見てきている。</p> <p>コロナと少子化で認定こども園でもそうだが、これらの影響が非常に心配される。これらを解決する為には若い人たちが入ってくれる望みがあるかどうか。最近コロナの影響で若者が移住してくるとの話を聞く。その為にはPRにしても動画にしても、お金をかけてやるべきだと思う。</p> <p>井上峰夫 会長</p> <p>B 委員の園でも、移住してきた方はいるのか？</p> <p>B 委員</p> <p>白浜地区に2~3組程度いると聞いている。数は多いわけではないが、移住者の話を報道等でも聞くので移住の望みがあるのかなと思う。</p> <p>C 委員</p> <p>全く新しい施設が我々の地域にできるという事で、考えられる新しい事をできるだけ取り込んで欲しい。</p> <p>知り合いの県会議員の先生から、令和7年までに圏央道が繋がると聞いている。そういった地の利を活かした企画もまちづくりに取り入れて欲しい。</p> <p>交流センターについてはみなさんに利用してもらえ施設にして欲しい。</p> <p>D 委員</p> <p>はじめて参加させていただきます。以前、某役員をやっていた時に市の職員と知り合いになり、色々教えて頂いてい</p> |
|--|--|---|

| | |
|------------|---|
| | <p>た。その方と今日またこの会議で出会うことができた。</p> <p>この協議会は知り合いづくりが基本になっているのかなと思う。</p> <p>私は出身が山口県で平成 5 年にこちらに移住してきた。なぜかとよく人に聞かれ、円がなくて縁があったと答えている。お金がなくてここに来たという意味です。</p> <p>差し支えなければ、E 委員に移住理由をお伺いしたい。</p> |
| E 委員 | <p>一言で言うと自分の人生を変えてみたかった。東京にいると 10 年先・20 年先の自分の姿が見えてしまう。この土地に越して来て自分が好きな事を試してみたいと思ったから。そしてこれも縁だと思っている。</p> |
| D 委員 | <p>若い人がいないと変わっていかないので、期待している。</p> |
| F 委員 | <p>皆さんの色々な意見を聞けるのは貴重。</p> <p>交流センターはまちの特産物等の宣伝できるものや、人を集めるテーマがあると良いのでは無いか。</p> <p>シルバー人材からは「ものづくりを教えられる人を」と言われるが、中々指導できる人材がいない。そういう人材を頑張って見つけて協力したい。九十九里ホームさんもこれだけの事業をやるのは大変だと思うが、期待している。</p> |
| G 委員 | <p>新しい人が増えるような魅力的な環境等であれば良いなと思う。</p> |
| 井上峰夫 会長 | <p>G 委員の出身はどちらか。</p> |
| G 委員 | <p>岩手県です。飯倉台の最初の造成のときにこちらに来た。飯倉台は良いところですが、匝瑳市の中で溶け込めていない感じを受けている。</p> |
| H 委員 | <p>初めて参加させていただきます。たくさんの資料を頂いて、まだ全てを読めていないので、的外れの意見の場合はご容</p> |

| | | |
|--|------|--|
| | I 委員 | <p>赦願います。</p> <p>私はずっと匝瑳市に住んでいるが、九十九里ホームと言う丘の上の立地の良い病院に 40 年前に 1 ヶ月ほど骨折で入院していた。体育館で足を複雑骨折して、ある名医の先生に診てもらった経験がある。景色もよくここに入院できたことを感謝している。</p> <p>次々に認定こども園、特別養護老人ホーム等を駅に近い良い立地の場所に作って頂き、どれだけ匝瑳市にとってまちの活性化を支えてくれているかについては感謝をしている。</p> <p>本事業は新たなコンセプトかなと思っている。今コロナで世間は騒いでいるが、これからは都会の時代ではない。これからは地方の時代。魅力あふれるこのまちに新しい施設ができ、まだまだ動ける高齢者を呼び込めるよい機会。そして、その人たちにどんどん任せていけばよいのではないか。このまちに来ればあなた方が主役になれる、農地もある、夫婦で移住して早めに準備をしてもらおう。施設から出て仕事もしたい、趣味もしたい、色々な関わりも持ちたい、発信もしていきたい。そんな人たちにどんどん任せる。主役になれるまちとして後期高齢者手前の人たちに PR していくのはどうか。そうすれば、交流センターも問題ない。移住者が活躍してくれる。そうすれば匝瑳市の住民も活性化されていく。入居者が活躍できるまちとして PR を是非して欲しい。</p> <p>私の立場として一点お願いと確認をさせて頂きたい。</p> <p>PR 動画の作成について、地域包括ケアシステムはインフラを中心にと話があったが、厚生労働省が発表した地域包括ケアシステムの根幹は、匝瑳市は匝瑳市全域と発表されている。</p> <p>なおかつ、4 年前当団体が市役所からの依頼で会を立上げさせて頂いて、地域包括ケアシステムの根幹を作ったと自負している。その点をお忘れないようにお願いしたい。</p> <p>九十九里ホームさんはいろんな施設があるのでやっているかとは思いますが、そうではなくて、まち全体で高齢者を見るというのが地域包括ケアシステムなので、そこだけは誤</p> |
|--|------|--|

| | | |
|--|------------|---|
| | 井上峰夫 会長 | <p>解の無いようにお願いしたい。</p> <p>もう一点確認ですが、このコロナ禍の中で感染が爆発している東京から移住者が飯倉台地区に来ると言うのは、100%感染が広がらないとは言い切れない。そこを行政はどう考えているのか。</p> <p>企画だけして感染者が出たら後は介護事業者に、では介護士の不満は爆発する。現に今年冬から現在までで介護士の疲労はピークを迎えている。小さな子どもがいる介護士もいれば、高齢者の家族がいる介護士もいる。皆感染リスクを背負って仕事に来て頂いている。そこを市役所の立場としてどのように、どこまでサポートしてくれるかをはっきり示して頂けないと福祉団体としては移住者を受け入れる事に賛成はできません。</p> <p>あとは、地域交流センター内に市内の若者に店舗を貸して欲しい。実店舗を持ってないお金のない若者向けにどうだろうか。</p> <p>これまでの意見を今後の参考にさせて頂く。</p> |
| | 事務局 | <p>5 閉会</p> <p>次回は12月5日(土)、講演会・意見交換会開催後の15:15から(専門部会と同時開催)。</p> |